



薬局通信 第113号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規患者限定医薬品
①クラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス錠 ②スキャンドネストカートリッジ3% ③アルファロール散 1 μ g/g	①リュープリン注射用 3.75mg ②ハイカリック液-1号 【在宅処方専用医薬品】 ①テルフューションポンプ用チューブセット ②アリメバッグ α クリアタイプ 2000mL ③コアレスニードルセット CFW-22GX5/8-450(16mm)	①ステルイズ水性懸濁筋注 60万単位シリンジ ②ユニツキシ点滴静注 17.5mg/5mL ③ステラーラ皮下注 45mgシリンジ ④エンレスト錠 50mg 【通常採用→患者限定薬に変更】 ①ツムラ香蘇散エキス顆粒
新規院外専用医薬品		採用中止品目
①レボセチリジン塩酸塩 OD 錠 2.5 mg ②フェキソフェナジン塩酸塩口腔内崩壊錠 60 mg		なし

変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	ゲンタマイシン点眼液 0.3% 「日点」	供給再開のため	トブラシン点眼液 0.3%
2	バンコマイシン塩酸塩点滴静注 0.5g 「MEEK」	自主回収のため	バンコマイシン塩酸塩点滴静注 0.5g 「明治」
3	塩酸バンコマイシン散 0.5g 「シオノギ」	販売移管のため	バンコマイシン塩酸塩 0.5g 「明治」
4	テモダールカプセル 20 mg・100 mg	後発品へ切替	テモソロミド錠 20mg・100 mg 「NK」
5	デパス錠 0.5 mg	後発品および限定薬へ切替	[限] エチゾラム錠 0.5mg 「アメル」
6	ホスホマイシカルシウムカプセル 500 mg 「日医工」	出荷調整のため	ホスミン錠 500 mg

採用薬品の処方開始は、原則として**2022年7月5日(火)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

新規試用医薬品

① クラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス錠 処方箋医薬品

(クラシエ薬品) 漢方製剤

含有成分名：サイコ、ハンゲ、ブクリョウ、ケイヒ、タイソウ、ニンジン、ボレイ、ショウキョウ、オウゴン、ダイオウ、リュウコツ

採用理由

市中の心療内科で頻繁に処方されており、服用患者が入院した際に、院内で対応できるようにするため。

効能効果

精神不安があって、どうき、不眠などを伴う次の諸症：

高血圧の随伴症状（どうき、不安、不眠）、神経症、更年期神経症、小児夜なき

用法用量

通常、成人1日18錠を2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：可

薬価：7.⁵円/錠

② スキャンドネストカートリッジ3% 処方箋医薬品/劇薬

(日本歯科薬品株式会社) 歯科用局所麻酔剤

一般名：メピバカイン

採用理由

エピネフリン含有の麻酔剤の使用を避ける必要があるときに使用する。

現在使用している「歯科用シタネスト-オクタプレシンカートリッジ」販売中止のため切替申請。

効能効果

歯科・口腔外科領域における浸潤麻酔

用法用量

通常、成人には1管1.8mL（メピバカイン塩酸塩として54mg）を使用する。

なお、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減するが、増量する場合には注意すること。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：113.⁵円/管

③ アルファロール散 1 μ g/g 処方箋医薬品/劇薬

(中外製薬) Ca・骨代謝改善 1 α -OH-D3 製剤

一般名：アルファカルシドール

採用理由

液剤では極微量投与時には誤差が生じてしまうため、1回用量ごとに分包できる散剤の採用をお願いしたい。

効能効果

○ 下記疾患におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状（低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等）の改善
慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、ビタミンD抵抗性クル病・骨軟化症

○骨粗鬆症

用法用量

本剤は、患者の血清カルシウム濃度の十分な管理のもとに、投与量を調整する。

○慢性腎不全、骨粗鬆症の場合

通常、成人1日1回アルファカルシドールとして0.5~1.0 μ gを経口投与する。

ただし、年齢、症状により適宜増減する。

○副甲状腺機能低下症、その他のビタミンD代謝異常に伴う疾患の場合

通常、成人1日1回アルファカルシドールとして1.0~4.0 μ gを経口投与する。

ただし、疾患、年齢、症状、病型により適宜増減する。

(小児用量)

通常、小児に対しては骨粗鬆症の場合には1日1回アルファカルシドールとして0.01~0.03 μ g/kgを、

その他の疾患の場合には1日1回アルファカルシドールとして0.05~0.1 μ g/kgを経口投与する。

ただし、疾患、症状により適宜増減する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：可

薬価：55.⁶円/g